

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

音楽（一般）

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全ての学年に、領域・分野ごとに構成された「学びのユニット」が示され、学習のねらいに到達する工夫が見られる。</p> <p>また、全ての教材に〔共通事項〕の「音楽を形づくっている要素」を明記した学びの手がかりとなるヒントや、学びを深めるための曲や活動が示されており、系統的で、主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全ての学年に、学習内容や教材を示した「学びの地図」が示され、学習のねらいに到達する工夫が見られる。</p> <p>また、全ての教材に〔共通事項〕の「音楽を形づくっている要素」と学習指導要領の資質・能力の三つの柱との関連性が示されており、系統的で、主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に「まなびリンク」「比べてみよう」「深めてみよう」が掲載され、学習の進め方について分かりやすく示されている。また、「話し合おう」では、自分の考えや感じ取った曲想等をまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、適宜、一人の教師のキャラクターが掲載され、吹き出しに具体的な学習の進め方やヒントが示されており、学びを確認できるようになっている。</p> <p>また、我が国の伝統的音楽については、口唱歌の動画や演奏動画がおさめられた「まなびリンク」を視聴することで、実感を伴う学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習内容の後半に記録用のワークシートが設けられており、学んだことを生かした表現の工夫を考えたり、比較鑑賞した気付きや考えをまとめたりするなどの工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に「深めよう！音楽」「My Melody♪」「Let's Create!」が掲載され、学習の手順が分かりやすく示されている。また、掲載されているワークシートでは、自分の考えや感じ取った曲想等をまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、適宜、二人の教師のキャラクターが掲載され、吹き出しに具体的な学習の進め方やヒントが示されており、学びを確認できるようになっている。</p> <p>また、我が国の伝統音楽については、「演奏者からのアドバイス」のコーナーでの本人による解説やQRコード内の演奏動画によって、実感を伴う学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、生徒のキャラクターの吹き出しに、表現の工夫や協働的な学びへの視点等が示されている。また、学習内容に応じた書き込みページを設け、学びを振り返ることができるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の目次の右下に、「まなびリンク」としてQRコードが掲載されており、範唱の音源や雅楽師などの範奏の視聴等ができるように工夫されている。
27 教 芸	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の必要なページにQRコードが掲載されており、楽器の演奏の仕方に関する動画や学習に関連する内容のウェブサイトの紹介が参照できるように工夫されている。

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

音楽（器楽）

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、各楽器についての基礎的な知識や奏法で演奏する曲をまとめた「演奏の仕方を身に付けよう」と、身に付けた奏法の活用をねらった「合わせて演奏しよう」が設けられるなどの構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>また、我が国の伝統音楽については、口唱歌（唱歌）を取り入れたり、「唱歌について」のページを設けたりするなど、実感を伴った学びになるような工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、楽器の基礎的な知識や奏法で演奏する曲をまとめた「アンサンブルセミナー」と、身に付けた奏法の活用をねらった「アンサンブル」や「楽器で Melody」が設けられるなどの構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>また、我が国の伝統音楽については、口唱歌（唱歌）を取り入れたり、「演奏者からのメッセージ」を掲載したりするなど、実感を伴った学びになるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、教材ごとに「学びのねらい」をスタート、「まとめの曲」をゴールに設定し、見開きで学習を見通せる構成になっており、主体的に学び合う活動が展開できるように工夫されている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、身に付ける技能の模範となる演奏を試聴できる「まなびリンク」や、写真、イラスト、解説を掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、「Let's play!」「Let's Try!」の中から、学校や生徒の実態に応じて、曲を段階的に取り扱えるように配置されており、習得した知識・技能を活用することができるように工夫されている。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、吹く楽器と弾く楽器の学習の最後に「何が同じで、何が違う？」のページが設けてあり、共通性と固有性を考え、特徴を理解することができるように工夫されている。</p> <p>また、「話し合おう」では、考えたことや気付いたこと等をまとめ、協働的な活動が展開できるような工夫がされている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「アンサンブルセミナー」では「学習目標」「活動文」「深めよう！音楽」によって、見開きで学習を見通せる構成になっており、主体的に学び合う活動が展開できるように工夫されている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、写真やイラスト、解説を掲載したり、様々な演奏や動画等を視聴できるQRコードを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、「アンサンブル」「楽器で Melody」の中から、学校や生徒の実態に応じて、曲を段階的に取り扱えるように配置されており、習得した知識・技能を活用することができるように工夫されている。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各楽器の学習の初めに、鑑賞曲を提示し、聴くことよって特徴を理解させるように工夫されている。</p> <p>また、「深めよう！音楽」では生徒のキャラクターの吹き出しに、対話の例や考える視点等が示され、考えや気付いたこと等をまとめて協働的な活動が展開できるように工夫されている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	(1)学習効果や使用上の利便性を高めるために、「各部の名称」「姿勢とかまえ方」などのコーナーがあり、基本的な知識や奏法について、鮮やかでダイナミックな写真やイラストを多く使うなど、主体的に知識・技能を身に付けることができるように工夫されている。
27 教 芸	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、「各部の名称」「姿勢と構え方」などのコーナーがあり、基本的な知識や奏法について、リコーダーの運指表のカラー掲載や替え指の紹介をするなど、主体的に知識・技能を身に付けることができるように工夫されている。